



2019年10月23日

各位

会社名 サンコール株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大谷 忠雄
 (コード: 5985、東証第1部)
 問合せ先 常務執行役員
 業務・管理部門長 杉村 和俊
 (TEL. 075-881-5280)

2020年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期連結累計期間(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2020年3月期 連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 45,500	百万円 2,600	百万円 2,500	百万円 1,900	円・銭 59.52
今回修正予想 (B)	43,300	1,300	1,340	1,100	34.36
増減額 (B-A)	△2,200	△1,300	△1,160	△800	---
増減率 (%)	△4.8	△50.0	△46.4	△42.1	---
(ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	45,812	3,384	3,557	2,314	72.59

2. 修正の理由

当社グループは、米中貿易摩擦が長引き、世界経済が減速傾向にある中、自動車販売の低迷やデータセンター投資停滞の影響を受けました。結果として第2四半期連結累計期間において自動車分野全般、およびニアライン向けHDD用サスペンションの受注が落ち込みました。

第3四半期以降も世界経済の先行きは非常に不透明ながら、下期は自動車分野では材料関連製品が持ち直し、自動車関連製品も緩やかに増加、電子情報通信分野ではニアライン向けHDD用サスペンションの回復を見込んでいます。下期も当初の予想数値は下回りますが、売上高、利益面ともに第2四半期連結累計期間の実績を上回る見通しです。加えて新規事業としてスマートフォン用部品の量産が本格的に立ち上がることで、下期の売上高に寄与する見通しです。

しかしながら、売上高、利益面ともに第2四半期連結累計期間の落ち込みが大きく、通期では前回公表いたしました数値には届かず、計画を下回ることとなりました。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上